

疫学情報 2018年7月25日分

[https://www.amed.go.jp/news/event/shimin\\_sympto\\_20180823.html](https://www.amed.go.jp/news/event/shimin_sympto_20180823.html)

「AMED 感染症研究事業 市民向けシンポジウム 一みるみる興味が湧いてくる！感染症研究の世界」開催のお知らせ

<https://www.amed.go.jp/content/000033848.pdf>

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)が行っている感染症研究支援や、最先端の感染症研究の紹介を行います。

第1部では、感染症研究の道を選んだ研究者から、その魅力、そして立ちはだかる困難についてご紹介します。

第2部では、あなたの身近にひそむ感染症や、その克服に向けた最先端の研究をご紹介します。

第1部、第2部のどちらかのみ参加も歓迎です。

#### 開催概要

名称 **AMED 感染症研究事業 市民向けシンポジウム 一みるみる興味が湧いてくる！感染症研究の世界**

会期 **平成30年8月23日(木) 15時30分～19時30分**

(開場：15時00分 第1部：15時30分～17時00分、第2部：18時00分～19時30分)

会場 よみうり大手町小ホール(読売新聞ビル内) (東京都千代田区大手町1-7-1)

対象 第1部：高校生、大学生、子育て世代の皆さま など

第2部：旅行先、海外出張、レクリエーション、食事など、日々の生活にひそむ感染症にご関心のある皆さま など

定員 200名 参加費 無料

主催 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 戦略推進部 感染症研究課

#### プログラム

**第1部 「感染症と戦う研究者たち」 司会進行：平山壽哉先生(長崎大学 名誉教授)**

15:30-15:35 開会挨拶

15:35-16:35 「カビ・コウボ・キノコとヒトの病気」

帝京大学大学院 医学研究科 教授 榎村浩一 先生

「HIV 感染症：狙撃の名手の裏をかくには」

国立感染症研究所 エイズ研究センター グループ長 山本浩之 先生

「エボラウイルスに挑む！」

東京大学医科学研究所 特任准教授 渡辺登喜子 先生

16:35-16:55 質疑応答、フリーディスカッション

16:55-17:00 閉会挨拶

**第2部 「身近にひそむ感染症」 司会進行：平山壽哉先生(長崎大学 名誉教授)**

18:00-18:05 開会挨拶

18:05-19:05 「食品媒介感染症からいかに身を守るか」

大阪府立大学 生命環境科学研究科 教授山崎伸二 先生

「蚊やダニによってうつるウイルス感染症」

国立感染症研究所 名誉所員(前所長) 倉根一郎 先生

「ひそかに肝硬変や肝臓へ進むC型肝炎を排除するための内服薬の進歩」

武蔵野赤十字病院 院長 泉並木 先生

19:05-19:25 質疑応答、フリーディスカッション

19:25-19:30 閉会挨拶

参加申し込み 下記申し込みフォームよりお申し込みください。



お問い合わせ先

宛先 戦略推進部 感染症研究課

住所 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 丁目 7 番 1 号 読売新聞ビル 22 階

Tel 03-6870-2225 E-Mail kansen@amed.go.jp

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000334110.pdf>

被災した家屋での感染症対策

災害時には、感染症の拡大リスクが高まります。

家屋の清掃で感染症を発症する恐れもありますので、注意しましょう。

## 浸水した家屋の感染症対策

浸水した家屋が浸水した場合は、細菌やカビが繁殖しやすくなり、感染症にかかるおそれがあるため、清掃が大切です！！

### 清掃の時の注意事項

- **ドアと窓をあけて、しっかり換気**  
数日して自宅に戻るときは、屋内にカビが発生していることがあります
- **汚泥は取り除き、しっかり乾燥**  
消毒薬は、汚れを取りのぞいた上で使用しましょう
- **清掃中のケガ予防に手袋を着用**
- **ほこりを吸わないようにマスクを着用**
- **清掃が終わったらしっかり手洗い**

### 主な消毒方法について

薬液の濃度や用法など消毒薬は、薄めて（希釈して）使用するものがあります。使用上の注意事項を確認してから使用しましょう。

- 汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合は、できるだけ次亜塩素酸ナトリウムを使用する。
- 対象物が、色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合は、アルコール、塩化ベンザルコニウムを使用する。

消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	0.02%に希釈する ①食器用洗剤と水で洗う。 ②希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。 ③よく乾燥させる。	0.1%に希釈する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を濡した布などでよく拭く。 ③金属面や木面など色あせが気になる場所は、水で2度拭きする。
消毒用アルコール	希釈せず、原液のまま使用する ①洗剤と水で洗う。 ②アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない	希釈せず、原液のまま使用する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない
10%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	0.1%に希釈する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を濡した布などでよく拭く。	0.1%に希釈する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を濡した布などでよく拭く。

参考：日本環境感染学会 一般家屋における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法

浸水した家屋を清掃される方へ

感染症予防のためには

# 清掃と乾燥が 最も重要です

屋外※では消毒は原則不要です

※特に床下や庭など

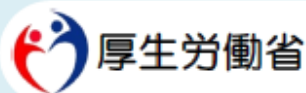
## 消石灰の取扱いに注意

肌や目を痛めるため、  
使用には十分な注意が必要です

消石灰は、アルカリ性であり、肌や目に触れると炎症を起こします。  
特に、まいた消石灰が飛散して目に入ると、大変危険です。  
目に入った場合、失明する恐れがあるため、すぐに大量の水で洗い  
流し、医療機関を受診しましょう。



消石灰を素手で触ったり、目に入れないよう注意



厚生労働省

被災した家屋での感染症対策

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_00341.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00341.html)

